

1. 研究所の位置

当研究所は、面積が日本8番目の湖「宍道湖」の北東岸、県都松江市の中心から西方約5kmに位置する。

2. 組織と業務の概要

島根県民の公衆衛生の向上及び増進を図るため、島根県における保健・環境衛生の科学的・技術的中核的機関として、(1) 調査研究、(2) 試験検査、(3) 公衆衛生情報等の収集・解析・提供、(4) 研修を4本柱に業務を推進している。

組織面では、原子力環境センターが併設されていること、総務企画情報課に保健行政を支援する調査研究と行政施策の評価法等を研究する部門があることが特色である。

(1) 調査研究

調査研究として、行政ニーズに基づく一般研究、先駆的に研究所が行う自主研究、その他研究を行っている。調査研究の計画と結果については、外部評価委員と行政委員からなる「調査研究課題等検討委員会」により評価している。

平成20年度は4月現在で、次の12題の研究を実施する。

- ①安来市糖尿病対策の評価に関する研究
- ②島根県医療費適正化計画に向けた医療費分析と評価システムの構築に関する研究
- ③島根県におけるESBL産生大腸菌の実態把握調査
- ④地域における健康危機に対応するための地方衛生研究所機能強化に関する研究「健康危機早期探知のための網羅的検査法の導入効果の検証」
- ⑤食中毒検査における糞便及び食品からの特異的定量検査のためのTaqManリアルタイムPCR法の検討
- ⑥冷凍損傷食中毒原因菌（カンピロバクター）の検査方法の検討
- ⑦リケッチア感染症の国内実態調査及び早期警鐘システムの構築
- ⑧自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討

⑨宍道湖で発生したカビ臭物質（2-メチルイソボルネオール及びジェオスミン）の動態に関する研究

⑩斐伊川流域における負荷量の長期的変遷の把握に係る予備的研究－実測法と原単位法による検討

⑪近年の島根県におけるオキシダント高濃度事象に関する研究

⑫高濃度エアロゾル現象に関するPM2.5の影響調査とライダー観測データの応用

(2) 試験検査

県民の健康と環境を守るために次の試験検査等を実施している。

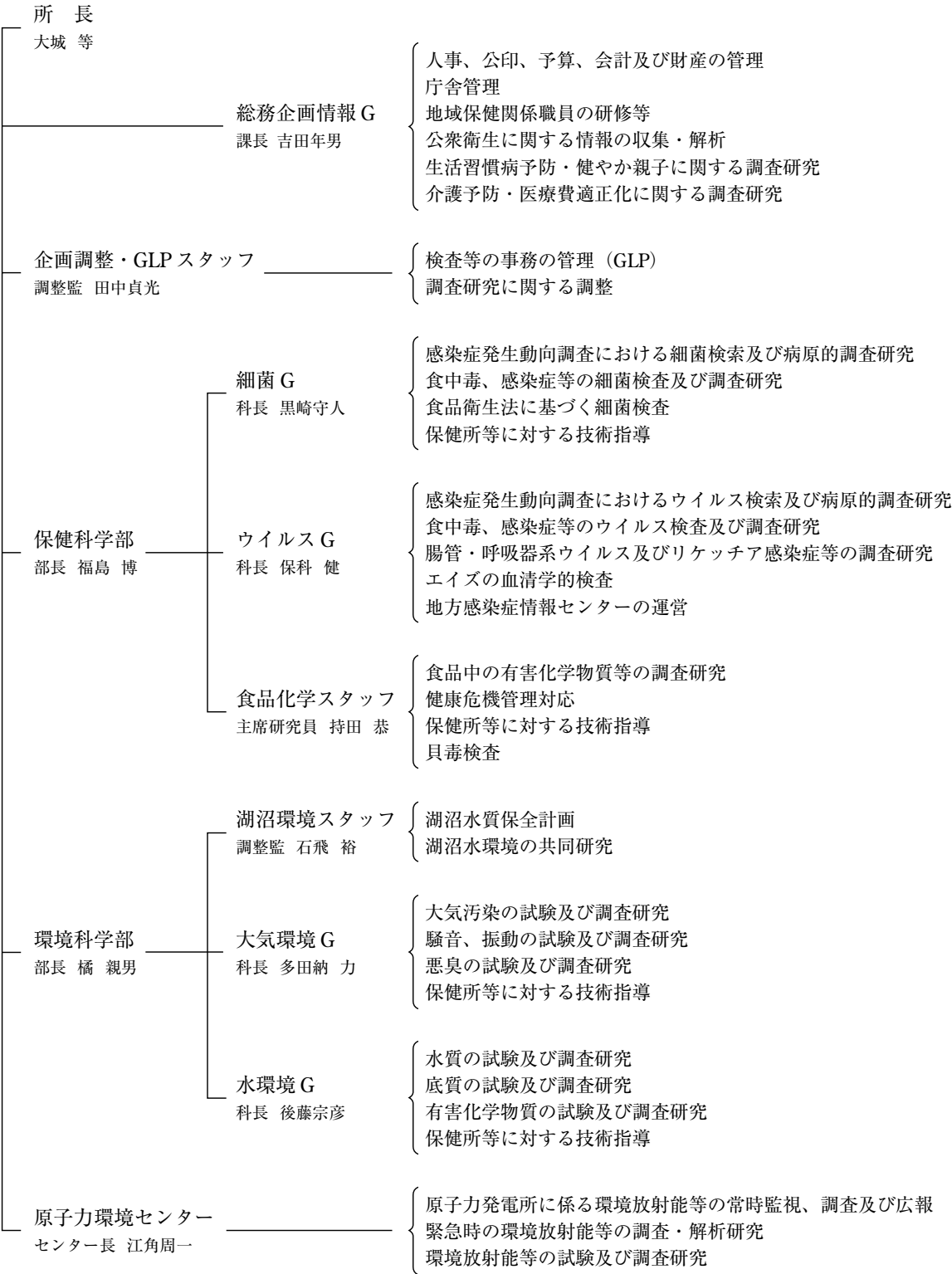
- ①健康危機管理対策としての感染症・食中毒の原因究明のための細菌・ウイルスの同定及び遺伝子解析、感染症動向調査等
- ②大気汚染環境監視、酸性雨調査、黄砂調査、火力発電所周辺環境調査等
- ③河川・湖沼、地下水、事業場排水、休廃止鉱山、浄化槽等の水質調査等
- ④原子力発電所周辺放射線監視調査、環境放射能水準調査等

(3) 公衆衛生情報等の収集・解析・提供

行政ニーズに的確・迅速に対応するために、公衆衛生情報、環境情報等を収集・分析して関係機関等へ提供すると共に、関係機関等との情報ネットワーク化を実施している。

(4) 研修

地域保健関係職員の資質向上のための研修や、大学や小中高校、各種団体の要望に応じた研修及び講師派遣を実施している。



組 織 構 成 図